



▲大滝神社での観察会

カタツムリ観察会を実施しました

身近にいるカタツムリを調べ、みんなで地域の環境を考えることをテーマに開催しました。愛荘会場は6月9日(土)14:00～金剛輪寺にて。多賀会場7月1日(日)9:30～大滝神社にて。彦根会場7月8日(日)14:00～龍潭寺にて。講師は金尾滋史氏(琵琶湖博物館学芸員)です。ここでは、参加された皆様の感想をご紹介します。

田中実桜さん(米原保育園 年中)

カタツムリをさがしたよ。いろんなカタツムリがいたよ。みおがみつけたカタツムリは、なになってきたら、おにいちゃんがおしえてくれたよ。

イセノナミマイマイっていうんだって。ぐによくようごいてかわいかったよ。なかなかみつからなかったけど、みつけたら、おにいちゃんがすごいうっていてくれてうれしかったよ。

まるいカタツムリとながいかたつむりがいたよ。いろんなカタツムリがいてびっくりしたよ。またさがしにいきたいな。

清水風花さん(多賀小学校 2年)

きょう、かたつむりのかんさつにいきました。朝に雨がふっていたので、見つかりそうだなとおもっていました。

木のさくのところをさがしていると小さいかたつむりを見つけました。色は、白色です。もようはついていません。かたつむりの名前は、「オトメマイマイ」です。はじめて見たかたつむりなのでうれしいです。おうちのちかくでも、見つけられたらいいなと思いました。

古石健太郎さん(大滝小学校 2年)

ぼくは、カタツムリのかんさつ会にいきました。びわこはくぶつかんから、かなおさんがきてくれました。カタツムリを見つけにいったら、カタツムリがいっぱい見つけられました。

たとえば、くちべにマイマイとか、おとめマイマイを見つけれられました。カタツムリのいろんなことがわかりました。くちべにマイマイのからは、赤かったし、カタツムリの目とかしょっかかぐがひっこむのがおもしろかったです。かなおさんがきてくれて本当にうれしかったです。

中村真実さん(城西小学校 3年)

「カタツムリかんさつ会」にさんかして

りょうたん寺会場に、父とさんかして、さいしょはなかなか見つけられませんでした。でも、だんだんかたつむりのようすが分かるようになってきました。

クチベニマイマイを見つけれられてうれしかったです。ナミギセルを見るのは、はじめてでした。なかなかいないので、見られてうれしかったです。

ナメクジは、かたつむりのかいから出たものときいてびっくりしました。カタツムリはいろんなしゅるいが、あることを知りました。ヤマナメクジは10cmくらいあって、とてもびっくりしました。

さいごに、あつめたカタツムリを見ました。1mmくらいの大きさのものもいて、びっくりしました。いろんなカタツムリを見られてとてもうれしかったです。また、カタツムリをさがしてみたいです。

青木瑠々奈さん(旭森小学校 3年)

わたしは、クチベニマイマイと、イブキクロイワマイマイしか見たことがありません。なのにニッポンマイマイ、ナミギセルと、いろいろなかたつむりが見られました。すごくびっくり。それに、ナメクジが、犬のうんちみたいでした。それに、ほんもののヒラベッコウは小さくてびっくりしました。やっぱり3mm～5mmは小さいです。すごくてのしくて、よくわかりました。かたつむりはやっぱりなぞがいっぱいです。

植野遙人さん(多賀小学校 4年)

カタツムリ観察会に行つて

ぼくは、7月1日に多賀の大滝神社へカタツムリ観察会にお母さんと行きました。大雨だったのでカッパも着ました。ぼくは、オトメマイマイしか見つけられなかったけどお母さんがナミギセルを見つけたのでくやしかったです。そこに生息しているカタツムリの種類でその場所のかんきょうがわかると聞いたので、これからいろいろなかたつむりを探してみたいと思いました。

青木梨々華さん(旭森小学校 5年)

わたしは、クチベニマイマイを観察しました。レア度が星2つだったので、またさがしたいです。

けっこう大きくてうずまきの色が茶色でした。かお～首あたりに線があり、その線は、右と左にありました。

1番ビックリしたのは、とく大サイズのなめくじです。はじめて見た時、これはなんなんだ?!と思いました。ふつうのなめくじの5倍くらいあり、こげ茶色でした。とにかくビックリしたとしか言いようのない大きさでした。

▼金剛輪寺での観察会



湖東の生き物の仲間



オトギリソウ(オトギリソウ科)

夏の終盤に2cmほどの黄色い花を咲かせる多年生植物。和名の由来は平安時代にこの草を鷹匠の兄弟が鷹の傷薬として秘密にしていたが、弟が漏らしてしまったことを怒り兄は弟を切り捨てた悲しい伝説から付けられた。草姿は伝説を表すように下葉に血しぶきが付いていると言うのも哀れである。



キジ(キジ科)

日本の国鳥、留鳥として平地から山地の草原、低木林に住む。オスは緑色の首から腹、長い尾羽が特徴。メスは赤褐色味が強く、尾の先端に白斑がある。繁殖期にオスが石の上や倒木の上でケンケンと鳴いて羽ばたく。平地に少し穴を掘って卵を産むが天敵が多いのか近年余り見かけたことがない。

三河湾環境再生シンポジウムに参加しました

8月18日(土)に愛知県豊橋市で開催された「三河湾環境再生シンポジウム ～琵琶湖とともに三河湾を考える～」に環境フォーラム湖東として参加し、滋賀県から出展した他の4団体とともに活動内容をPRしました。
会場の豊橋市公会堂は、昭和6年に建築された豊橋市を代表するロマネスク様式の近代建築物で、国の登録有形文化財になっており、建物内部も梁や扉に施された装飾の一つひとつに歴史の重みを感じられる空間でした。
当フォーラムは、生き物調査やシンポジウム、エコピアの発行などを継続して行っていることを中心に展示・発表しました。展示ブースでは、カタツムリ調査を予定されている愛知県のNPO法人の方や、石けん運動に関心のある滋賀県出身の方などから声をかけていただくなど、県を越えての交流ができ、有意義なシンポジウムとなりました。

豊橋市公会堂▲
パネル発表▼



エコキャンドルで復興支援を～えこサロン10/びわ湖まちかどむらかど環境塾

2011年3月11日に起こった東北大震災から丸一年を迎えようとする2012年3月9日(金)、えこサロンNo10では、被災地に入り込み、被災地の復興支援に携わっている「あかりんちゅ」代表山形蓮さん(滋賀県立大学大学院生)をお迎えしました。

山形さんから、学生で技術も資金もない、でも何かしたいという熱い思いを持って田の浦地区に入り、そこで見たのは、主幹産業であったほたて養殖が壊滅的な打撃を受けたものの、男性は徐々に漁に出て行き仕事に戻りつつあるが、女性には仕事がないという現実。そこで、女性が集まる時間と場所を作って「すること」をつくれたら、そしてそれが少しでも収入に結びつけばという思いから「ほたてあかり」が生まれた、というお話をしていただきました。そして今後の課題や展望を冷静に、しかし熱い思いはそのままに話される山形さんに感動と、時間の経過と共に忘れつつあった「できることから何かをしなれば・・・」という思いを再び持たせていただきました。

参加者の皆さま方にも、ほたてあかりをご購入いただき、ご支援・ご協力ありがとうございました。



▲エコキャンドルで復興支援を
▼マザーレイク21計画について



環境フォーラム湖東からのお知らせ

エコサロンは琵琶湖の周り、湖東地域で環境に関心のある人々をつなぐネットワーク団体「環境フォーラム湖東」の交流会です。環境問題に関心・興味のある方、取り組んでいる方、ゆっくりお茶でも飲みながら、語り合いませんか？思わぬ発見、出会いがあって、まさに「誰からぼたもち!？」のひとときです!

えこサロン No.11

日時: 11月9日(金) 19時~21時
場所: 花しょうぶ通り
ギャラリー&カフェ「寺子屋」
参加費: 500円 ワンドリンク付き
申込み: 環境フォーラム湖東 事務局
522-0071 彦根市元町4-1
滋賀県湖東環境事務所内
TEL: 0749-27-2255 FAX: 0749-27-1688
E-mail: infoef-koto.org

話題提供者
辻岡 逸人さん
「とまと屋さんの夜の寺子屋!」
学びたい人集まれ〜♪

- 環境フォーラム湖東団体会員
湖東地域農業センター
彦根市環境保全指導員連絡会議
愛のまごエコライフ
愛荘町さわやかまちづくり推進会議
環境学び舎のたね
クラウドワーク甲良
宇賀川水茶を見守る会
株式会社平和堂
リサイクルステーション
太田川「夢の会」
株式会社キーン
NPO協賛会(太陽光発電の会)
滋賀自然環境保全・学習ネットワーク湖東フィールドグループ
- 高宮の自然環境とホテルを守る会
彦根市PTA連絡協議会
彦根市香山・蓮林会
豊郷町消費学習グループ
犬上川を豊かにする会
快速環境づくりをすすめる会
NPO芹川
芹川自然観察の会
彦根自然観察の会
(公社) 滋賀県環境保全協会
株式会社キーン (公社) 彦根青年会議所
彦根市PTA連絡協議会 おやじの会
滋賀自然環境保全・学習ネットワーク湖東フィールドグループ

12/8
(土)

湖東地域環境シンポジウム講演

「カタツムリの分布から見えてくる湖東地域の環境」



- 10:20 開会式・よし笛ミニコンサート
出演 日本よし笛の会
10:40 緑のカーテンコンテスト表彰式
11:10 湖東地域のカタツムリ調査表彰式
11:30 講演 講師 金尾 滋史氏
(滋賀県立琵琶湖博物館学芸員)
13:30~16:00 エコグッズづくり体験
- 於 ビバシティ彦根2階研修室
<参加費無料>

お問い合わせ先:
環境フォーラム湖東事務局
(湖東環境事務所)
TEL: 0749-27-2255 E-Mail: info@f-koto.org

同時開催 湖東の環境活動パネル展
12/4~10
於 ビバシティ彦根センターモール

主催: 環境フォーラム湖東
共催: 湖東定住自立圏推進協議会環境・ごみ処理部会(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)
滋賀県湖東環境事務所

発行: 環境フォーラム湖東 (平成24年10月)
■ 〒522-0071
■ 彦根市元町4-1 滋賀県湖東環境事務所内
■ TEL 0749-27-2255 ■ FAX 0749-27-1688
■ URL <http://www.f-koto.org/>
■ E-Mail info@f-koto.org

環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています

すでに環境に関する活動をされている方や、ちょっと環境の勉強をしてみたいという方、企業・市民団体のみならず、どなたでも参加していただけます。
まずはお気軽に、左記事務局までご連絡ください。環境フォーラム湖東に関する詳しい情報をご連絡いたします。